

- 札幌営業所
〒007-0865 北海道札幌市東区伏古五条 3-1-24
TEL : 011-781-6667 FAX : 011-780-3012
- 仙台営業所
〒984-0003 宮城県仙台市若林区六丁の目北町 4-30
TEL : 022-390-7911 FAX : 022-390-5290
- 新潟営業所
〒950-2032 新潟県新潟市西区的場流通 2-1-8
TEL : 025-264-4551 FAX : 025-264-4550
- 金沢営業所
〒921-8005 石川県金沢市間明町 1-26
TEL : 076-291-1501 FAX : 076-291-1503
- 東京第一営業所
〒123-0864 東京都足立区鹿浜 4-24-16
TEL : 03-5838-1777 FAX : 03-5838-1763
- 東京第二営業所
〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-57-8
TEL : 03-6758-0208 FAX : 03-3895-1271
- 西東京営業所
〒187-0002 東京都小平市花小金井 3-1-24
TEL : 042-463-2091 FAX : 042-463-2510
- 埼玉営業所
〒331-0046 埼玉県さいたま市西区宮前町 1628-1
TEL : 048-620-2031 FAX : 048-620-2032
- 千葉営業所
〒263-0003 千葉県千葉市稲毛区小深町 31-1
TEL : 043-304-2031 FAX : 043-421-1733
- 東関東営業所
〒305-0882 茨城県つくば市みどりの中央 68-1
TEL : 029-836-3061 FAX : 029-836-3060
- 横浜営業所
〒221-0057 神奈川県横浜市神奈川区青木町 1-10
ステラレジデンス横浜 1F
TEL : 045-451-3951 FAX : 045-451-3967
- 厚木営業所
〒243-0815 神奈川県厚木市妻田西 2-16-10
TEL : 046-296-4861 FAX : 046-295-6021
- 静岡営業所
〒422-8034 静岡県静岡市駿河区高松 2 丁目 17-17
TEL : 054-238-1391 FAX : 054-238-1390
- 名古屋営業所
〒454-0027 愛知県名古屋市中川区広川町 3-1-1
TEL : 052-365-6361 FAX : 052-365-6362
- 京都営業所
〒601-8181 京都府京都市南区上鳥羽堀子町 32-2
TEL : 075-694-6621 FAX : 075-694-6620
- 大阪営業所
〒552-0001 大阪府大阪市港区波除 1-1-13
TEL : 06-6583-9981 FAX : 06-6583-9003
- 高松営業所
〒761-8082 香川県高松市鹿角町 259-3
TEL : 087-815-1491 FAX : 087-815-1490
- 北九州営業所
〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀 1-15-16
TEL : 093-562-3581 FAX : 093-562-3580
- 福岡営業所
〒812-0892 福岡県福岡市博多区東那珂 2-9-11
TEL : 092-474-9361 FAX : 092-474-9623
- 沖縄営業所
〒900-0001 沖縄県那覇市港町 2-12-12
TEL : 098-860-8751 FAX : 098-860-8420
- 特需営業部
〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-57-8
TEL : 03-3894-0092 FAX : 03-3810-4784
- 特販営業部
〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-57-8
TEL : 03-6362-4511 FAX : 03-5901-1071

ひとつの金具がすべてを変える

らく吊[®]X



「抜群の施工性」

ナットを外さずに施工ができます。
配管吊り込み時にパイプの
調整が楽にできます。

「向上した安全性」

3つ（脱落防止・外れ防止・目視確認）
の新機構で実現した、
これまでに無い安全性

「施工のスピードが速く、かつ、安全と安心を実現」



「最速の施工」動画

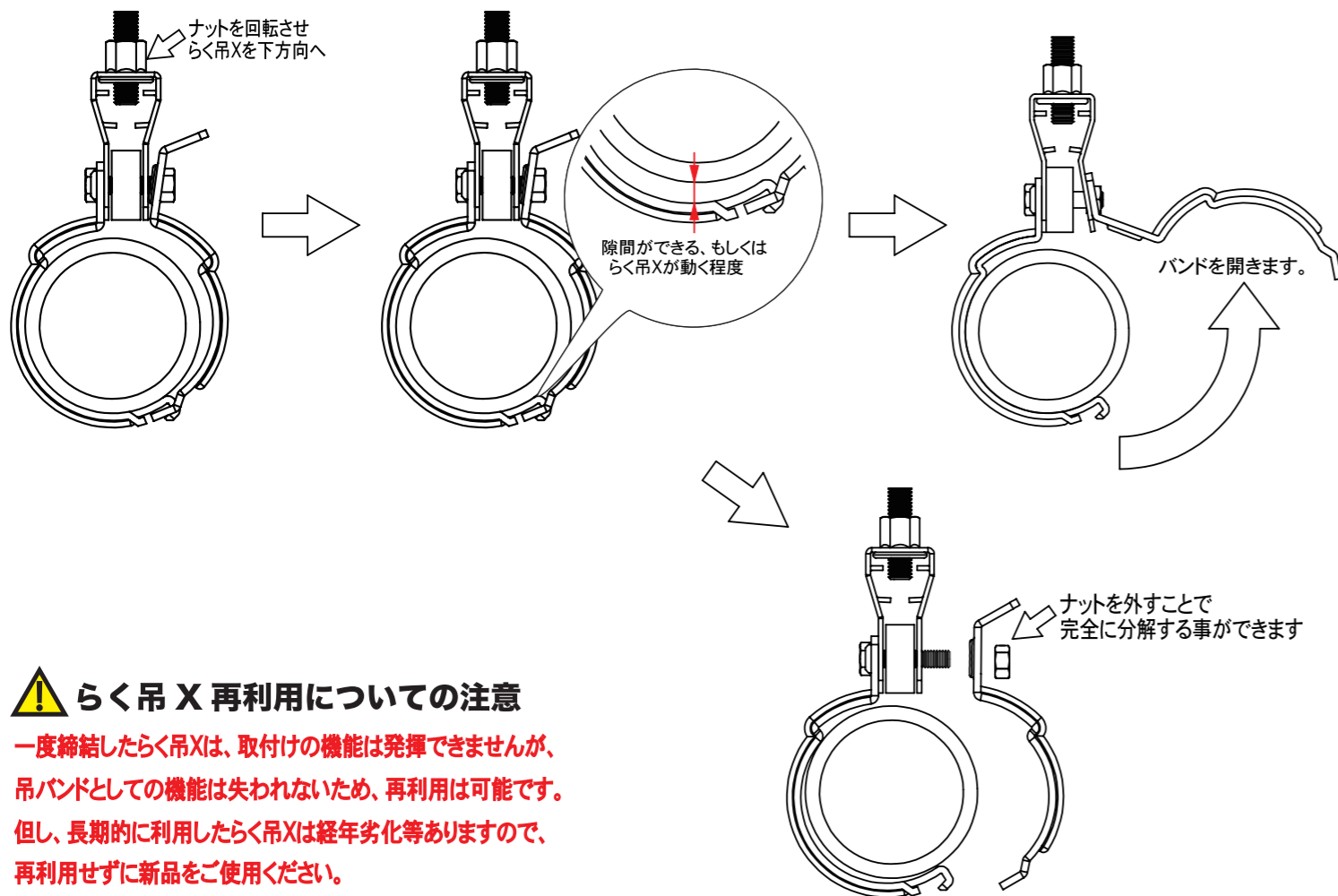


アプリ風
ホームページ

らく吊X 嵌合手順

配管設置後、手直しなどで吊バンドを外す場合

- ①締結しているナットを緩め、上部フランジナットを下方方向に回転させ、らく吊Xに配管重量が掛らない状態にします。配管を手で支えながら1ページ目の開き方を参照し、バンドを開いてください。



⚠ らく吊X 再利用についての注意

一度締結したらく吊Xは、取付けの機能は発揮できませんが、吊バンドとしての機能は失われなため、再利用は可能です。但し、長期的に利用したらく吊Xは経年劣化等ありますので、再利用せずに新品をご使用ください。

徹底的に作業のディテールを見直しました

抜群の
施工性

脱落無しの
3つの
安全性

省施工
省人化

省コスト

■ らく吊Xの主な新機構

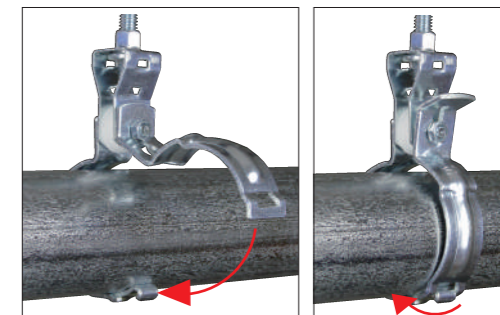
新機構によりナットを外さなくても
取付けできます



施工性が格段に向上
(部品分解ゼロ)

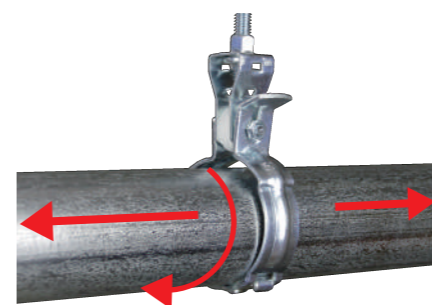
抜群の施工性

ナットを外さずらくらく取付け



パイプの仮置き可能、
ナット取外し不要で
施工性が格段に向上

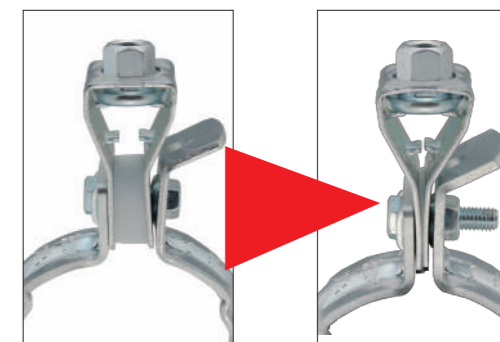
抜群の施工・安全性
パイプの可動が容易



配管吊り込み時にパイプの調整が楽に
でき施工性が格段に向上 (バンドの外れ
防止、ナットの脱落防止機構付き)

安全性

ナットの締め忘れ防止



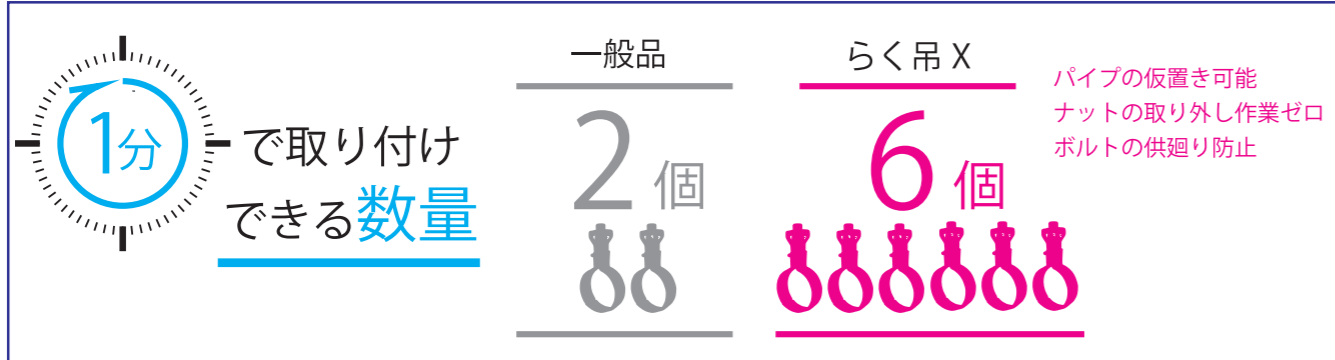
ナットが締まるとパッキンが
潰れて目視で確認できます

注) さまざまな試験を通して安全を確認しておりますが、より安全にご使用頂くために、配管の仮置き後は速やかに嵌合、締結を行って下さい。

抜群の施工性：だから 1 分間で 3 倍施工できる

様々な新機構により施工工数自体を大幅に削減できます。

■ 施工したバンド数比較



■ バンドの施工 工数比較表

● 一般品



作業工程短縮

● らく吊 X (電動工具)



施工工数 **約 70% カット**
※弊社施工テスト時

● らく吊 X (手動工具)

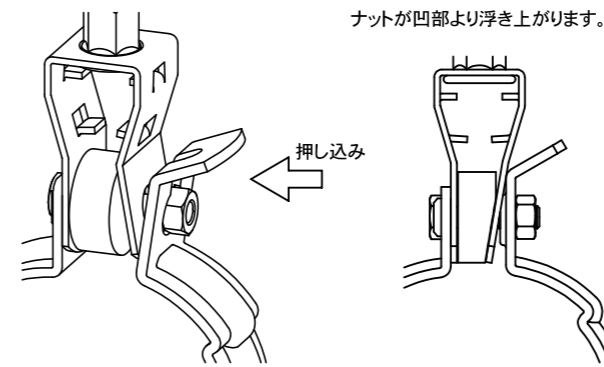


施工工数 **約 60% カット**
※弊社施工テスト時

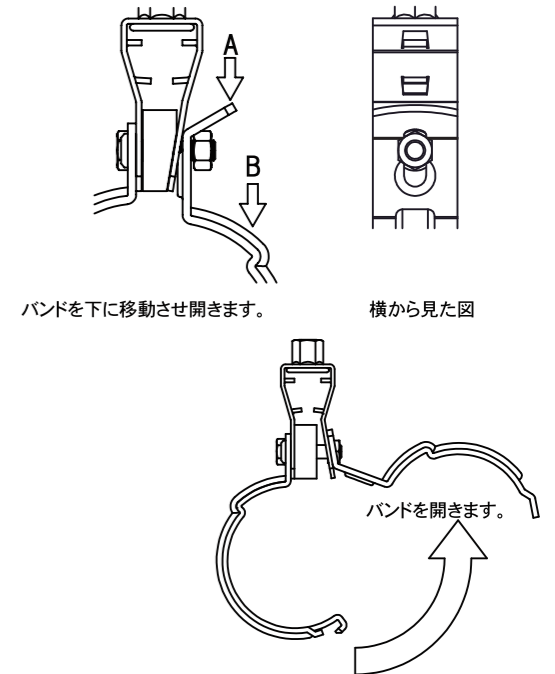
らく吊 X 嵌合手順

開き方

① らく吊 X ナット側バンドの上部曲げ部を凹(ダボ)部分からナットが浮き上がるまで押し込んでください。



② 浮き上がった状態でバンドを下図A・Bの箇所から力を加え、下方へずらしながら開きます。



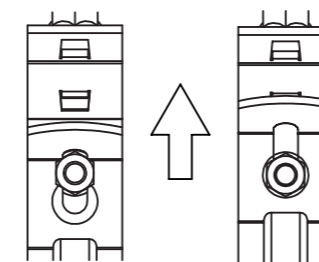
⚠ 注意

バンド締結用ナットは触れずに、バンドの開閉(嵌合)作業をおこなってください。

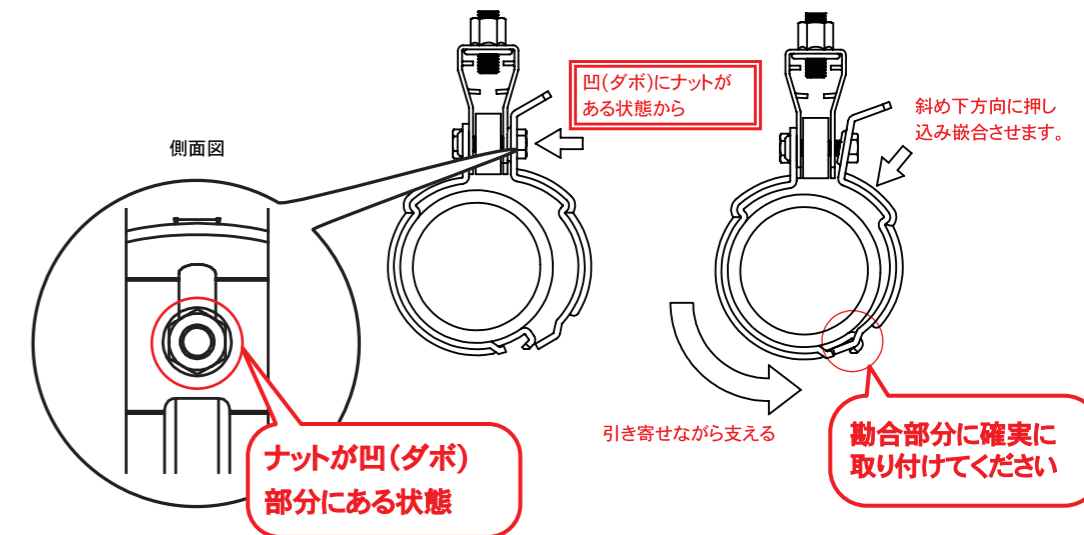
嵌合方法

らく吊 X のパイプ仮置き機能は、嵌合前の一時的なサポートです。仮置き状態で放置するとパイプが落下する恐れがありますので、**直ち**にバンドの嵌合を行ってください。

① 開いたバンドを閉じ、ナットが凹(ダボ)に収まる状態にしてください。



② ダボにナットがある状態から、下図のように斜め下方方向に押し込み嵌合してください。



⚠ 注意

- パイプは仮置き状態で放置すると落下する恐れがありますので、**直ち**にバンドの嵌合を行ってください。またバンドの嵌合後は、**締付ナットが凹(ダボ)の位置にあることを確認してください。**
- 仮置き側にパイプ重量がかかり過ぎると嵌合しにくい場合がありますが、パイプを少し持ち上げると嵌合しやすくなります。
- バンドの嵌合は、片手作業はせず、仮置き側のバンドを支えながら両手で作業してください。

注) ・バンド数比較、工数比較は、実施工とは異なります。
・吊バンド 1 個を取付けた場合の比較例になります。